

ポイント

- ・令和8年6月、国の「外来医師偏在指標」が公表
- ・新たに山口・防府と長門の医療圏が、全国上位 1 / 3 に入った
- ・国のガイドラインにより、両医療圏を「外来医師多数区域」として定めることとなる

	R6.1の値	今回（R8.4）の値	上位1/3か
山口県	1 0 7 . 5	1 1 0 . 0	
岩国	1 0 7 . 6	1 0 9 . 9	
柳井	9 4 . 0	8 6 . 7	
周南	9 3 . 6	9 6 . 0	
山口・防府	1 0 5 . 7	1 1 7 . 9	該当
宇部・小野田	1 1 8 . 3	1 1 5 . 0	該当
下関	1 1 7 . 2	1 1 6 . 8	該当
長門	9 5 . 3	1 2 4 . 0	該当
萩	1 1 3 . 5	1 0 8 . 2	
上位1/3閾値※	1 0 7 . 8	1 1 1 . 7	

※ 二次医療圏の数値

今後の対応

- ・「第8次山口県保健医療計画」の中間見直しにおいて、本指標を踏まえた外来医師多数区域の設定に向けた作業を進める。
- ・R8.10月～11月：調整会議、医療審議会 で 外来医師多数区域を審議
- ・R9.2：調整会議、医療審議会 で 保健医療計画の中間見直し（最終案）を審議
- ・R9.4：見直し後の外来医師多数区域の基づく取組を開始